

中学校区におけるめざす子ども像
自ら学び 自ら取り組み 自ら表現できる子どもの育成

令和7年度 教育目標 「地域とともに輝く子」
重点目標 「心が育つ きれいな学校」
重点課題

①「総合的な学力の育成」学びのコンパスを踏まえた子どもが探究的に学ぶプロセスを重視した授業改善・自律的に学ぶ力を育成する家庭学習習慣の定着
②「心の教育の推進」教育活動全体を通じた人権教育の推進・あいさつの響きあう学校に向けて『特別の教科 道徳』を要とした道徳教育の推進・読書指導の更なる充実・問題行動の早期発見・早期指導・積極的生徒指導の推進
③「健康・体力づくりの充実」食育の推進・運動の楽しさを実感できる授業改善・健康教育の推進
④「特別支援教育の推進」障がいの状況に応じた指導の充実・特別支援コーディネーターを核とした校内支援委員会の充実・支援学級と通常学級との交流の充実・障がいに応じた特別の指導を特別な場(通級指導教室)で受ける指導形態の設置
⑤「家庭・地域・関係諸機関との協働」外部人材の積極的活用とPTA・地域行事への積極的参加・学校教育アンケートの実施とアンケート結果の効果的活用・幼、小、中の連携・学校群による9年間を見通したカリキュラムの編成、学校間のさらなる交流
⑥「児童の安全確保」児童のけが、トラブルへの迅速な対応と未然防止・安全教育の充実・災害や不審者対応に向けた危機管理・安全管理体制の構築・食物アレルギー対応の徹底
⑦「環境整備」整理整頓・清掃活動の充実
⑧「学校力・教師力の向上」人権に関する認識を深め人権感覚豊かな教職員を目指す・組織的・継続的な校内研修の実施:ともに高め合う教師集団・個人情報の適正な取扱いと管理の徹底・服務規律の遵守と健康の保持・促進

・昨年度、「自分の思いや考えを表現できる児童の育成～話し合い活動～」という教科研修主題で研修を行った。そして、児童の話し方、聞き方、そして、友達の記事を聞いて考えを広げる方法などについて学ぶことができた。しかし、話を自分事としてとらえず、主体的に最後まで話を聞くことができない児童もいた。また、友達の意見を聞いて、自分の考えを見つめなおす段階に届いていない児童もいた。そこで、児童の話し方、聞き方、振り返り方などの力を低学年からしっかりと身につけることを目標として、今年度の教科研修主題を「自分の思いや考えを表現できる児童の育成～話す能力・聞く能力を活かして～」とする。
・今年度、「学習規律」を見直し、チャイム着席が確実にできるようになるために「休み時間の間に次の授業の用意をしましょう。」というきまりを付け加えた。これまでの「話す・聞くのきまり」「声のものさし」の指導も、全学年で継続して取り組む。そして、しっかりと学習習慣を身につけ、落ち着いて学習環境を整えて学習することができるように努める。

豊かな心・健やかな体の現状
・昨年度と比較してみると、全体的に前年度より下回る種目が多いが、同一集団で比較すると1学年相応の伸びが見られる。各学年の運動に対する得手不得手の特徴が出ている。全体的に、堺市平均値とは差異はないが、長座体前屈の記録が全体的に低い傾向にあるため、準備運動等で柔軟を取り入れ、継続的に取り組んでいきたい。
・体育の運動で体を動かすことが好きになった児童が上昇傾向にある。体を動かすことが好きな児童が減らないように、体育以外でも体を動かす場や楽しさを広げていく必要がある。積極的に体育館開放など、運動す場や機会を広げていく。
・体力づくりにおいて、日常活動できる場面を作り、たてわり班で活動するなど楽しみながら体力向上につながる運動ができるようにし、全体的な体力の底上げをめざし、体力向上に取り組んでいく必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (年度途中)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業力の向上	自分の思いや考えを表現できる児童の育成～話す能力・聞く能力を活かして～	★教科研修主題「自分の思いや考えを表現できる児童の育成～話す能力・聞く能力を活かして～」に向けて学校群の合同授業研究を行い、討議会も五箇荘学校群の全職員で行う。★夏季研も学校群合同で行う。 ●教科研修主題の実現に向けて、児童の話す能力・聞く能力を活かせるように低・中・高学年別に実態を調査、授業改善の検討を重ね、児童の思考や表現に生かせる授業展開を考え、日々の授業に取り組む。	・研究授業の実施回数 ・全職員で実施できている	実施状況	2月初旬 毎月 2月初旬					
	静謐な学習環境	学びに向かう姿勢の確立	学習規律(授業の準備・チャイム着席・下じきを使う・定規を使う・名前を丁寧に書く)を定着させる。 話す・聞くのやくそく(話を最後まで聞く・話し手の目を見て聞く・場に応じた声の大きさを話す・はい…です(ます)と言う)を定着させる。	・児童アンケートで「学習規律を守っている」の肯定的回答が85%以上になる。 ・児童アンケートで「話すとき・聞くときの約束を守っている」の肯定的回答が85%以上になる。	状態についての協議 児童アンケート 授業観察 状態についての協議 児童アンケート 授業観察	毎月 12月頃 毎月 12月頃					
豊かな心・健やかな体	体力の向上	体力向上をめざした授業研修	時期ごとに、児童が意欲的に取り組めるような運動例を全職員で共有し、体育科の授業向上を図る。	・児童アンケートで「体育の運動で、体を動かすことが好きになった。」の肯定的回答が85%以上になる。	状態についての協議 授業アンケート 授業観察	毎月 12月頃					
		体力向上につながる授業実践と行事の計画	過年度の結果をもとにして、各学年の苦手種目の動きを高めるための運動を年間を通して行う。 全児童が参加できる運動が中心となるような体育的行事を計画し取り組む。	・全学級で実施できている。 ・昨年度の体力テストの結果よりも向上が見られる。 ・全学級で実施できる体育的行事を実施している。	状態についての協議 体力テスト 授業観察 実施状況	毎月 12月頃 2月初旬					
	自尊感情の育成	人を思いやるきれいな心を育む	各学年の実態に応じ、道徳や学級活動で互いの良さを認め合う取り組みを行う。 全職員がいじめ防止に対する知識を持ち、児童が安心して登校することができる学級環境をつくる。道徳や学級活動でいじめ問題、上手な友達のかかわり方など、他者理解につながる取り組みを行う。 なかよし活動(異年齢交流)を毎月1回行い、助け合う心、思いやる心を育む。	・全学級で実施できている。 ・全学級で実施できている。 ・実施できている。	状態についての協議 授業観察 状態についての協議 生活アンケート 授業観察 状態についての協議 児童の様子	毎月 12月頃 毎月 12月頃 毎月 12月頃					
地域協働	地域の育成	自ら進んであいさつする子を育てる	児童会が中心となり、児童への啓発を行い、校区交通指導員やPTA安全見守り隊の方へ感謝の気持ちを伝える場面としてのあいさつについて考える機会を設けるなど、進んであいさつをする子を育てる。	・対面式とあいさつ運動の実施 ・児童アンケートで「すすんであいさつをしている」の肯定的回答が85%以上になる。	実施状況 児童アンケート	12月頃 2月頃					
	地域人材の活用	地域人材を活用した学校への支援体制をつくる	コミュニティスクールコーディネーターや教育ボランティアによる教育活動への参画ならびに授業支援の実施。	・全学年で実施できている。	実施状況	毎月 2月頃					

校長より(年度末) _____ 学校関係者評価者から(年度末) _____